

真鶴

自治会だより

皆、皆が住みよい町に



真鶴小学校



新校舎は昭和49年10月山側に建て替え



真鶴中学校



新校舎は昭和55年8月建て替え

この写真は私が過ごした昭和24〜32年頃のものだと思います。この頃は、今思うと何もない時代でしたが、子供同士の集まりが懐かしく思います。

遊びが第一!!朝から夕方まで!! 遊びは、メンコ・ベーゴマ・ゴム鉄砲・その他!! 夏休みは、朝から夕方まで海へ(クロンボでした)、サザエを昼食に!! それと、真竹の皮に梅干を挟んでしゃぶっていました。

それから、昭和26〜27年ごろだと思いますが、相撲巡業が小学校であり、その後相撲が盛んになり相撲をよくとりました。昭和29年の日光修学旅行には、米一合を持参。今では給食がありますが、当時は昼時間になると自宅に昼食を食べに帰りまして。また、ラジオの「緑の丘の赤い屋根」を聴こうと、ラジオのそばに行ったり、力道山のプロレスを観るためテレビのある家に行ったり。力道山とアメリカ人の試合、力道山が勝ったと思いましたが?一番の楽しみは劇場(真鶴唯一の映画館)での時代劇でした。

小学校の校舎は木造2階建てで海側に、中学校の校舎は木造1階建てで山側にありました。

(古い写真の提供…真鶴町)
(広報部 伴野)

第三弾

去年こぞの真鶴か、
古いにしえの真鶴か
どちらかは、
あなたによります。

真鶴小・中編

真鶴地区(岩地区を除く)の人口推移			
1925(大正14年)	796世帯	3,634人	4.56人/世帯
1940(昭和15年)	953世帯	4,615人	4.84人/世帯
1955(昭和30年)	1,403世帯	6,720人	4.79人/世帯
1980(昭和55年)	1,945世帯	6,767人	3.48人/世帯
2008(平成20年)	2,360世帯	5,699人	2.41人/世帯
2021(令和3年)	2,281世帯	4,681人	2.05人/世帯



真鶴未来塾まちこY.H

わたしの真鶴のお気に入りの場所は、日和山です。毎年ここから初日の出を見るのが楽しみです。かつて、漁師さんがこの場所から海や空の様子を見て、漁に出るか決めていたそうです。ここには鯖大師が祀られ、海上安全と水難者や魚貝類の供養塔が建てられています。

真鶴未来塾まちこE.W

私の大好きな真鶴のスポットは琴ヶ浜です。毎年、暖かい時期になると家族や友達と琴ヶ浜へ行き、潮溜まりにいる海の生き物を取って観察したりして楽しんでいます。シュノーケリングすると、真っ青な魚やしましま模様の魚がいたりして、家族みんなで大はしゃぎしています。



真鶴未来塾まちこK

私のお薦めは大道商店街のローソン前にオープンしたtakeOさん！こちらは洋風のお惣菜とお弁当のお店です。どれも家庭では出せない本格的な味わいが大人気！皆さまぜひ召し上がってみてください！

道草書店 中村竹夫/道子

初めて真鶴を訪れた日、最初に降り立った場所が岩海岸でした。目の前に広がる蒼い海がとても眩しく感じたのを覚えています。海を眺めながら浴びた風が心地よく、その瞬間に真鶴に来ようと思った思い出の地です。





真鶴出版 来住友美

駅から岩漁港に続く道を「いわみち」と呼んでいたそうで、特にお店が集まっているこのエリアを勝手に「いわみち商店街」と呼んでいます。昔からあるお店と新しくできたお店が両方あって、なんだかほっとするエリアです。

(一社)地域間交流支援機構(通称:ロコラボ) 山下拓未

松本山の小道
真鶴半島と重なるように伸びる天城山の稜線上に大室山や小室山が、水平線には大島、初島、利島、新島が一望でき清々しい気持ちになります。この景色を眺めながら一服すれば疲れや悩みも吹き飛びます。



真鶴町政策推進課 中村恵美



真鶴町との出会いは、高校時代3年間参加していた、よさこい祭でした。人の温かさに惹かれ、真鶴に就職し、今でもよさこいを続けています。私のおすすめは、真鶴ぼんぼんぞめです。よさこいで真鶴を元気にします。

広報真鶴担当



デビット伊東



デビット伊東です。ふらっと立ち寄った「内袋観音」鬱蒼とした木々に囲まれ何十年、時を止めているのだろうか？

何故か心が苦しくなり、涙が出てくる。観音様の意味を調べると「人々の苦しみを除いたりお願い事を聞いたり慈悲深い仏様の事」心が動かされ半年かけ、きれいにしました。

なんだか微笑んでいるようにも感じます。みなさんの声が届きますように……。

自治会連合会 視察研修報告（茅ヶ崎市）



3年ぶりとなる自治会連合会の視察研修が令和4年11月30日に実施され、コミュニティセンター湘南と市役所を訪問し、茅ヶ崎市民を代表する「まちぢから協議会」の役員および市役所職員の方々と、真鶴町と茅ヶ崎市の現状と問題点などを話し合った。

以下に重要と思われる項目に絞り報告致します。

- 1、真鶴町、茅ヶ崎市双方共通の認識として①自治会加入率の低下②役員の担い手不足 ③役員の高齢化の3つが問題となっていた。茅ヶ崎市では解決の為、6年前より「まちぢから協議会」を発足させ、①自治会 ②行政 ③社会協議会 ④民生委員 ⑤子供会 ⑥市民（個人） ⑦老人会など全ての組織や個人が力を合わせることで地域の力として問題を解決している。
- 2、防災対策のうち、要支援対象者の扱いについては個人情報扱いで難しい面があったが民生委員が中心となって支援者名簿をA/B/C/D/Eの5段階にマッピング。
自分で避難できるA/Bの方は20%に相当し自治会が担当して避難する。
残り80%のC/D/Eの方の避難は行政が担当。
このマッピング化によって要支援者対策が大きく進展したとの事。
- 3、自治会加入率に関しては、茅ヶ崎市では昭和54年に98%あった加入率が令和4年には73%にさがり、対策として市役所では転入者に対し紙面で対象地域の自治会を紹介している。
また「まちぢから協議会」からはパンフレットを全戸配布している。
- 4、広報活動について「まちぢからだより」を年3回発行している。
年間で決まった行事は3回程度だが他に各地域独自の行事も多く、コミュニティセンターでは液晶画面で何時でも予定を視ることが出来、またインターネットで何時でも閲覧できるサービスも提供している。



真鶴町自治会連合会でも下記の方向で検討を進めていますが、自治会会員の皆様よりご意見を頂けるとうれしく思います。

- ①災害弱者に対応する為、役場、民生員、社会協議会、消防署、自治会の連携を検討中
- ②災害時の要支援者への対応について進めているが、個人情報の扱いで検討が遅れている。
- ③自治会の加入促進では転入者に加入単位自治会の連絡先など必要事項を記した自治会連合会の統一した加入届が手渡せる仕組みを検討中。（3月より実施）
- ④広報活動についても4回発行している「自治会だより」や単位自治会での取り組みについて、誰でもいつでも閲覧出来るようにホームページの開設を準備中。（4月開設予定）

広報部 山下嘉邦

編集後記

先月第5回目の新型ワクチン接種を受けましたが、3年続いたコロナ対策の転換を迎える年に成ればと思う日々です。

今回のメインは真鶴に移住して自治会だよりで紹介された方、広報部に協力していただいた方々に「私のおすすめスポット」を紹介してもらいました。

真鶴の素敵な場所等が紹介され、あらためて真鶴の良さが伝わってきます。

私のおすすめスポットはマリンバース真鶴横のガードレールより箱根の山から伊豆半島の見える場所があり小学生のころ湯河原町から日金山に登ったことを思い出し頂上からの景色は疲れが飛ぶほどの絶景でした。

皆様も色々な場所を散策してはいかがでしょうか。

今回原稿を作成していただいた皆様には心より感謝申し上げます。

広報部 高橋靖彦

